



宇久っ子

学校だより
令和3年9月8日
文責 日高 智明

【教育目標】ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる児童の育成

【キャッチフレーズ】元気いっぱい・笑顔いっぱい・花いっぱい

【こんな子どもに】かしこい子・やさしい子・げんきな子



学校HP

あたりまえはすばらしい！！

夏休みに入る前3つのがんばることについての子どもたちのアンケート結果をもとにふり返った時に、あたりまえにできていることについての子どもたちの自己評価が低いことに気づきました。学校生活の中で、あたりまえのことをあたりまえにしてくれているから助かっていることがたくさんあります。そこで、子どもたちに次のような話をしました。(抜粋)

夏休みに入る前に、3つのがんばることについてふり返りました。

「自分から元気にあいさつする」は、よくできるようになってきていたので、これからも自分から元気にあいさつすることを続けることと、学校以外、家族や地域の人たちへのあいさつもしっかりしてあいさつの達人をめざしましょう。

「何度でもチャレンジする」と「上級生は下級生のお手本になる・下級生は上級生のよさを見つける」は、まだまだという感じでした。夏休みの間、「どうしたらみんなががんばったと言えるのかなあ。」と考えていたのですが、「これだ！！」と思える答えが見つかりませんでした。でも、今日みんなが登校してくる様子を見て答えが見つかりました。なんだかわかりますか？

答えは、あたりまえということです。

久しぶりにみんなが登校してくる姿を見て、とてもうれしかったんです。やっぱり、学校にはみんなの元気な声が似合います。みんなが走り回って遊んでいる方が、運動場らしいです。そんなあたりまえのことが、とてもうれしくて、とても大切なことなんだと思ったんです。

だから、チャレンジすること、お手本になることやつけるよさは、特別なことではなくあたりまえのことでいいんです。大切なことは、あたりまえのことを続けることです。

チャレンジすることは、毎日できることを自分で決めて続けるといいですね。

お手本は、廊下を静かに歩くなど、あたりまえのルールを守ることでもいいです。

つけるよさは、してもらうことばかりではなく、上級生がしているあたりまえのを見つけるといいですね。

あたりまえのことを続けることで、自分の自信につながります。

あいさつだけでなく、チャレンジもお手本もよさを見つけることも、続けることで達人をめざしていきましょう。

あたりまえのことをあたりまえにできた時に、しっかりほめることで子どもたちが自信をもてるように支援していきます。

裏面につづく

図書室の本のコーナー

図書室には、いつもいろいろな本の紹介コーナーを図書司書の福井先生がつくってられています。今は、「秋をテーマにした本のコーナー」「新しい本のコーナー」「もうすぐ貸し出しが始まる本のコーナー」があります。

このコーナーのおかげで、子どもたちが「ちょっとこの本読んでみようかな。」という気持ちになり本を手に取ります。子どもたちだけでなく、私も「ちょっと読んでみようかな。」と思って本を手を取っています。子どもたちの読書意欲を高めることに、とても効果がある本の紹介コーナーです。来校の際は、ぜひのぞいてみてください。



<秋をテーマにした本のコーナー>



<新しい本のコーナー>



<もうすぐ貸し出しが始まる本のコーナー>

【お知らせとお礼】

毎朝、運動場上の信号機付きの横断歩道で、交通安全ボランティアとして子どもたちの安全な登校を見守っていただきました市川準次さんが、ご家庭の都合で9月から立哨できなくなられました。市川さんは、平成24年(2012年)4月からの約10年間、子どもたちを見守っていただきました。市川さんは、子どもたちだけでなく、転勤してきたばかりの私に宇久のことをいろいろ教えてもくれました。本当にお世話になりました。いつも、宇久小のホームページを見てくださっているということでしたので、この場をかりてお礼申し上げます。
ありがとうございました。

